

「中央環境審議会動物愛護部会」(第53回)

基本指針の見直しに係る 関係者ヒアリング

ヒトと動物の関係学会
花園誠

日時: 令和元年11月25日(月) 13:30~16:30
場所: 環境省第1会議室

ヒトと動物の関係学会について

活動開始 1995年4月

学会の課題

- 1.ヒトと動物の現実的課題を解釈し、対策を講じる
- 2.ヒトと動物の特性に関する知識を豊かにする
- 3.ヒトと動物の新しい文化を創造する

学会員

自然科学系・社会科学系・人文科学系・芸術系

ヒトと動物の関係学会と動物観研究会

活動開始 1991年

研究会の課題

人の動物に対する意識や態度を明らかにする。

日本人の動物観を知ることは諸外国の異文化圏の人々との思想・文化の相違を理解する上で重要。

研究成果は野生動物や飼育動物の管理指針に適う。

2006年よりヒトと動物の関係学会の分科会に。

「日本の動物観」

動物観の12態度類型

審美的態度

宿神論的態度

分析的態度

支配者の態度

実用的態度

否定的態度

生態学的態度

家族的態度

倫理的態度

自然主義的態度

無関心の態度

開発的態度

「犬は室内で飼いたい。」

→家族的態度

「犬も何かに役立たせたい。」

→実用的態度

「犬の命も人と同等である。」

→倫理的態度

動物観の態度類型とその変容

- 1990年代前半から2000年代前半にかけて
日本人の動物観はより「家族的に」と変容した。
石田ら「日本人の動物観」動物観研究 No.8(17-32):2004.
- 「イヌ・ネコ」は家族の一員であって生活空間を共にする存在である—そのような動物観は日本人の中に定着したと考えてよいのだろうか

3月12日

年(平成23年)3月12日

土曜日

享月

日

新

聞

1892年3月11日第3種郵便物誌

東日本大震災



11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とする大地震があり、宮城県栗原市で震度7を観測した。東京23区でも震度5強を観測するなど、北海道から九州にかけての広い範囲で震度6強〜1の揺れに見舞われた。地震の規模を示すマグニチュード(M)は8・8。気象庁によると、記録が残る1923年以降、国内で最大の地震という。

震源は宮城県
東南東約130
km。警察庁によ
る死者は約2
万2千人、行方
不明者は約1
万5千人、被災
者は約40万人
と推定されている。

M 8.8 国内

震度7 沿

いま
伝えたい

被災者の声

朝日新聞

平成23年3月23日



「犬がいるので避難所では迷惑になると思い、がれきの残る自宅で過ごしている。大変だが、近所の人の支えに毎日、心を動かされている。津波が来る前に高台まで車で連れていってくれた田中さん、助けてくれてありがとうございました」
||自宅

平成23年4月4日



犬のももちちゃんがいるので避難所に行けないんです。電気がつくまでと頑張ってきて、ようやく通電したら、漏電の恐れがあると止まったまま。力が抜けました。何に希望を持てばいいか分からなくなりました。一体どこまでいじめられるのでしょうか。東京にいる息子が『来るように』と言ってくれているんですけど、行方不明の夫が見つかるまでは何としても動きません」
||自宅

図5.1 避難所に入れないペット

「避難所に入れないイヌ・ネコ」

「避難所に入れないたくさんさんのペットがいる」

「一緒に暮らす犬を避難所に持ち込むわけにはいかないから」と避難所に入らず自宅に留まり、あえて孤立した生活を選択する人すらいた。

どうも「ペットは避難所に持ち込めない」のが今の日本人が共有するコンセンサスのようである。

震災で露呈した「日本の動物観」

「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」

- 2013年、環境省発行。

「同行避難」を推奨。

- 利点
 1. ペットを守る。
 2. ヒトを守る。

2016年4月16日

午前1時25分

避難所に入れないペット問題再燃

「同行避難」

- ペットとともに安全な場所まで避難する行為（避難行動）と解釈。
- 避難所に
 - 一緒に逃げる。
 - 一緒に入らない。

「改訂災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」

- 2018年 「同伴避難」を定義。
- 被災者が避難所でペットを飼養管理すること（状態）を指す。
- 避難所に
 - 一緒に逃げる。
 - 一緒に入る。

2019年10月12・13日

台風19号

避難所でペット同伴
を断られる。

「日本の動物観」を読み解く鍵

- 「ウチ」と「ソト」
(生活空間の水平的2分化)
- 郷においては郷に従う
(状況主義)

「日本の動物観」に作用する力
～その1

生活空間の2分化

「ウチ」と「ソト」

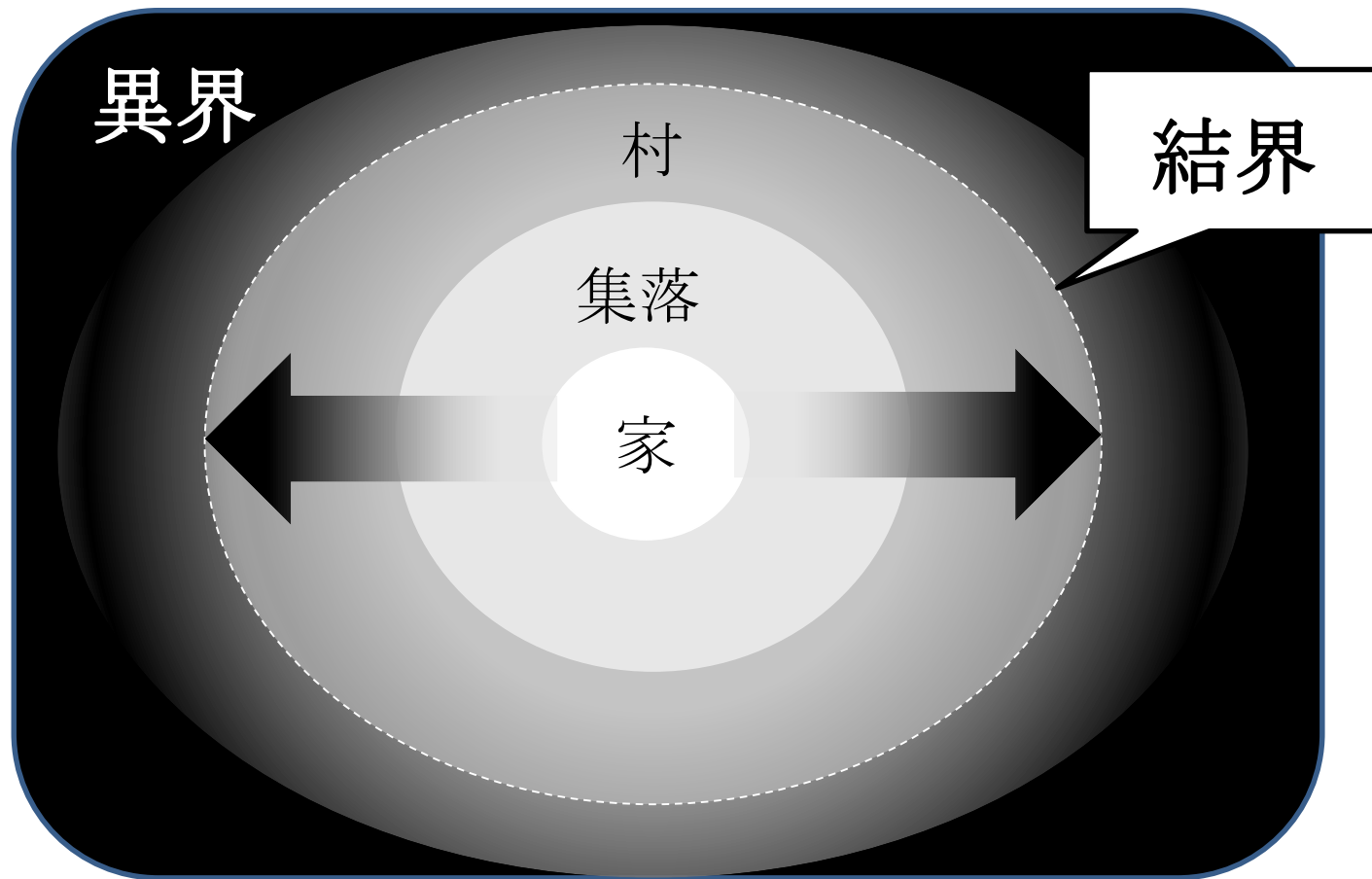
「ウチ」と「ソト」

日本人の思考様式の中に「ウチ」と「ソト」の対立概念がある(Lebra, 1976).

この概念は,例えば建屋(ウチ)から外出する時に「内履きから外履きに履き替える」などと行動様式にも色濃く表出しているし,また徹底している.

一般的にあって「ウチ」は清浄な空間,「ソト」は不浄な空間と厳密に区別されている.

生活空間における浄・不浄の 同心円構造

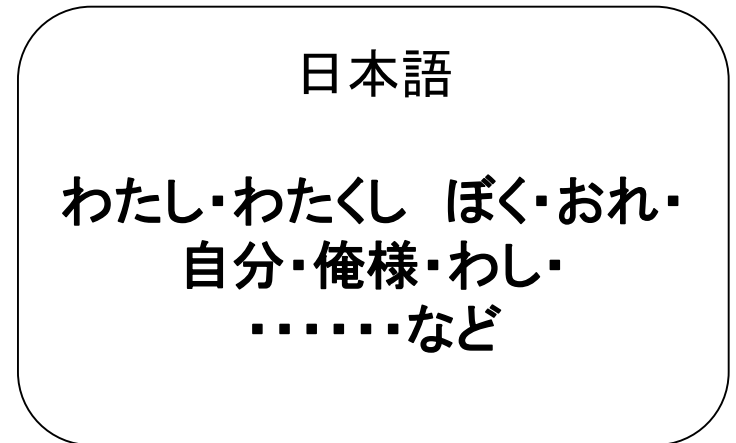
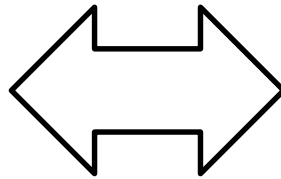
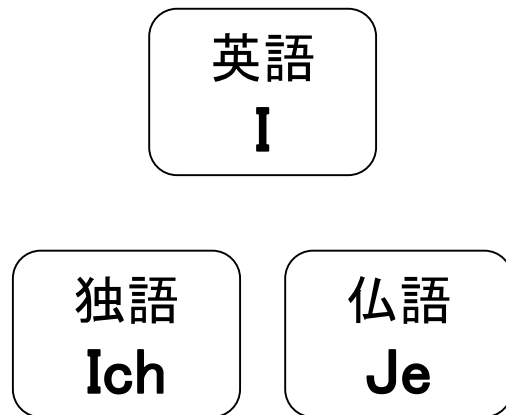


「日本の動物観」に作用する力
～その2

状況主義

「郷においては郷にしたがう」

日本語の1人称は多様.



どんな状況でも
不変の「自己」.

状況により
可変する「自己」.

「日本の動物観」に作用する力 ～その2

状況主義

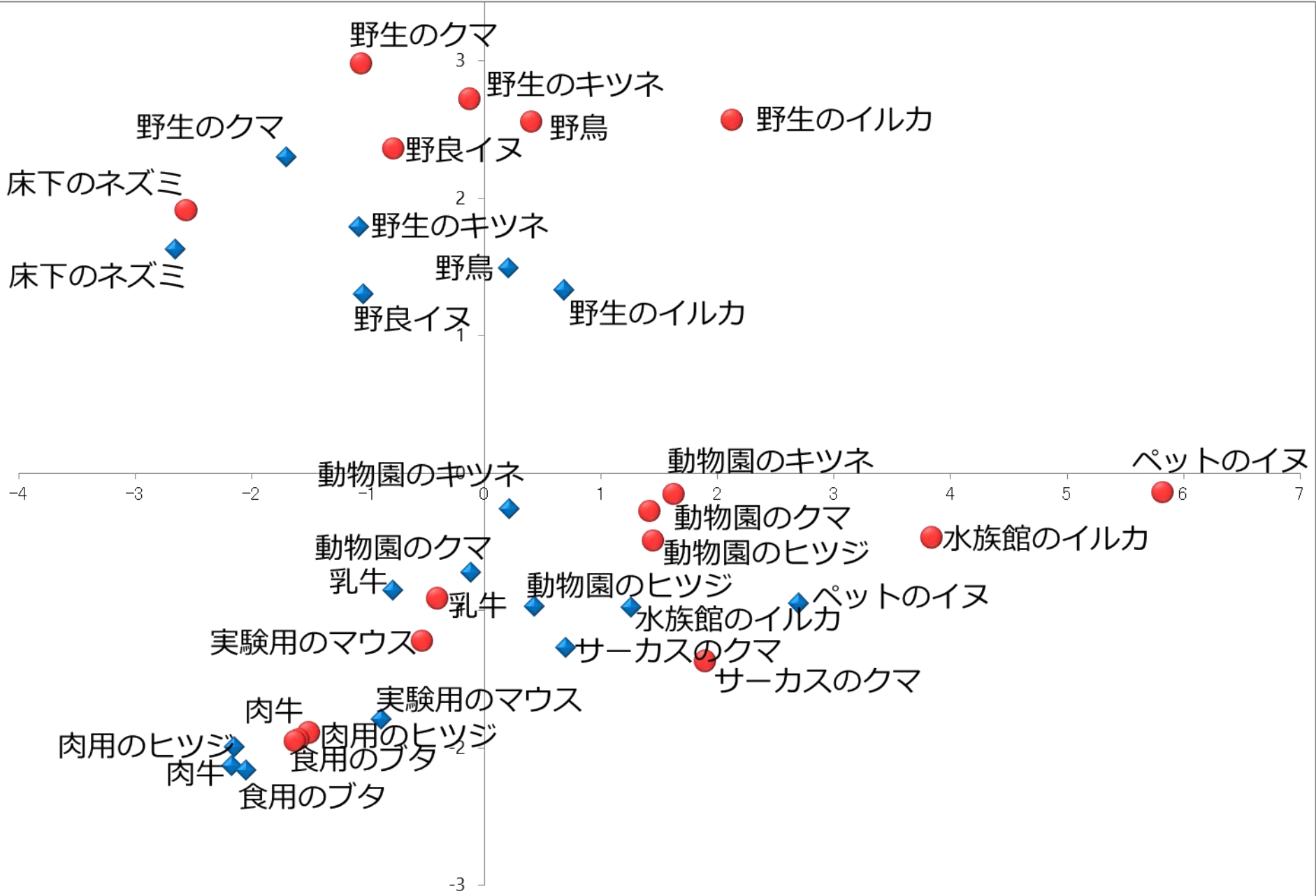
「家族的に」と変容したのは
日本人「個人の」動物観であり、
日本の動物観ではない。

日本の動物観 「棲み分けの動物観」

1. 「ウチ」と「ソト」の空間弁別が徹底, 動物はそのどこかに位置づけられている.
2. その場に存在する主体(=人と動物)のもつ特性は, 能動的にというよりは, 全く受動的に「場(=空間)によって」決定されてしまう.
3. 動物に対しては「棲み分けるべきである」との強い意識がある.

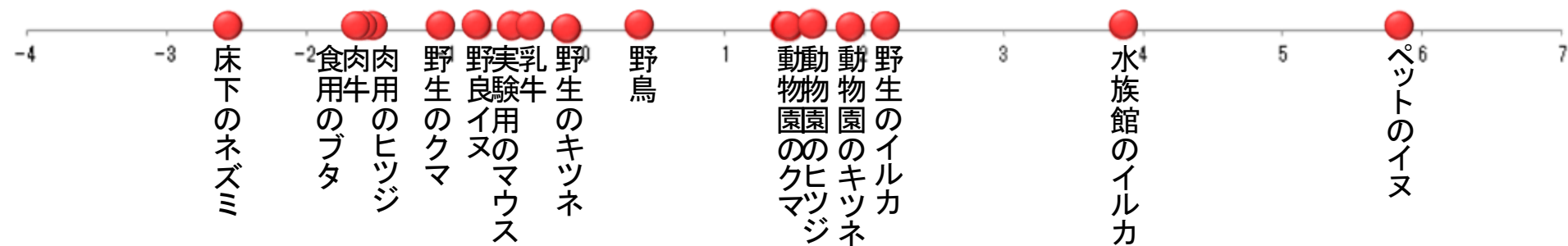
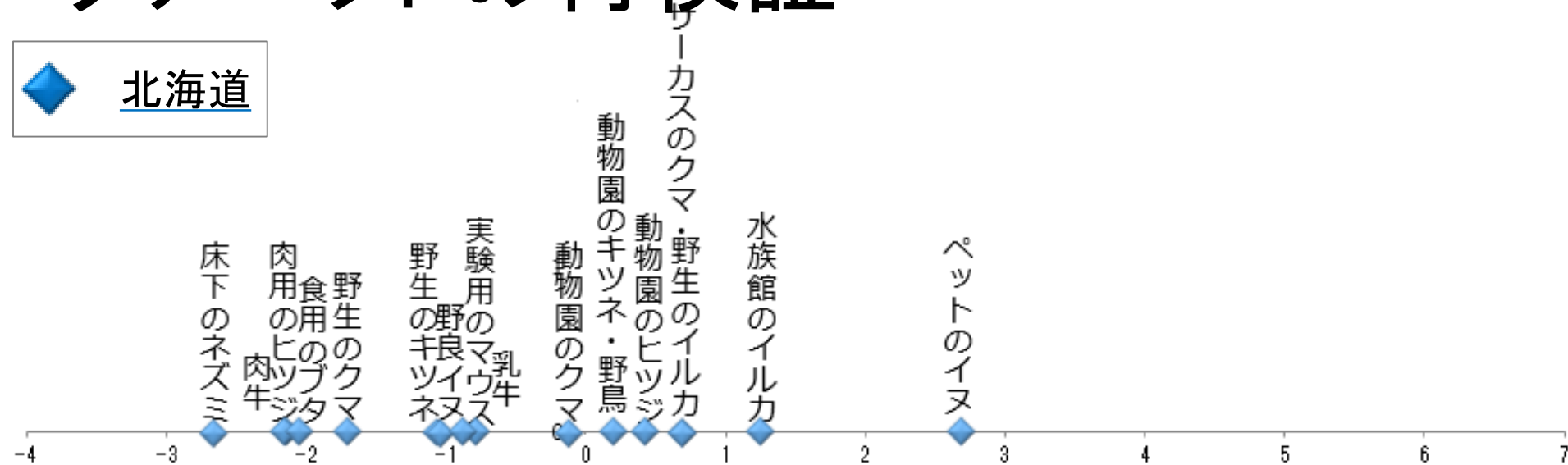
「日本の動物観」における 地方変異

動物観の地方変異 ◆北海道VS ●本州 イメージ分布の差



ウチ⇄ソトの再検証

◆ 北海道

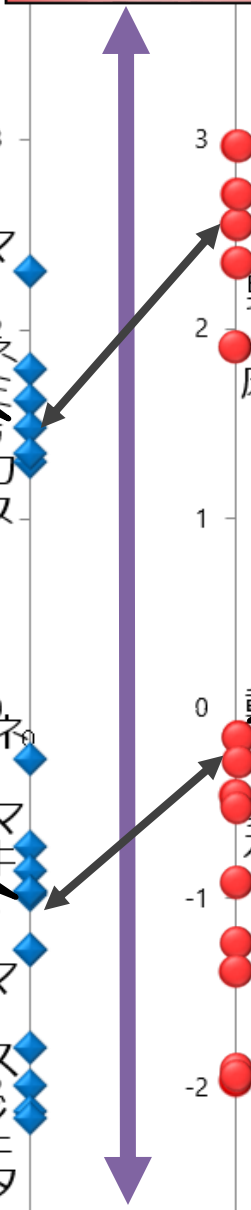


● 本州

自由

4
3
2
1
0
-1
-2
-3

不自由



野生のクマ

野生のキツネ
床下のネズミ

野鳥

野生のイルカ

野良イヌ

動物園のキツネ

動物園のクマ

乳牛

ペットのイヌ・
水族館のイルカ・動物園のヒツジ

サーカスのクマ

実験用のマウス

肉用のヒツジ

肉牛

食用のブタ

野生のクマ

野生のキツネ

野鳥・野生のイルカ

野良イヌ

床下のネズミ

動物園のキツネ・ペットのイヌ

動物園のクマ

動物園のヒツジ

水族館のイルカ

乳牛

実験用のマウス

サーカスのクマ

肉牛

肉用のヒツジ

食用のブタ



北海道



本州

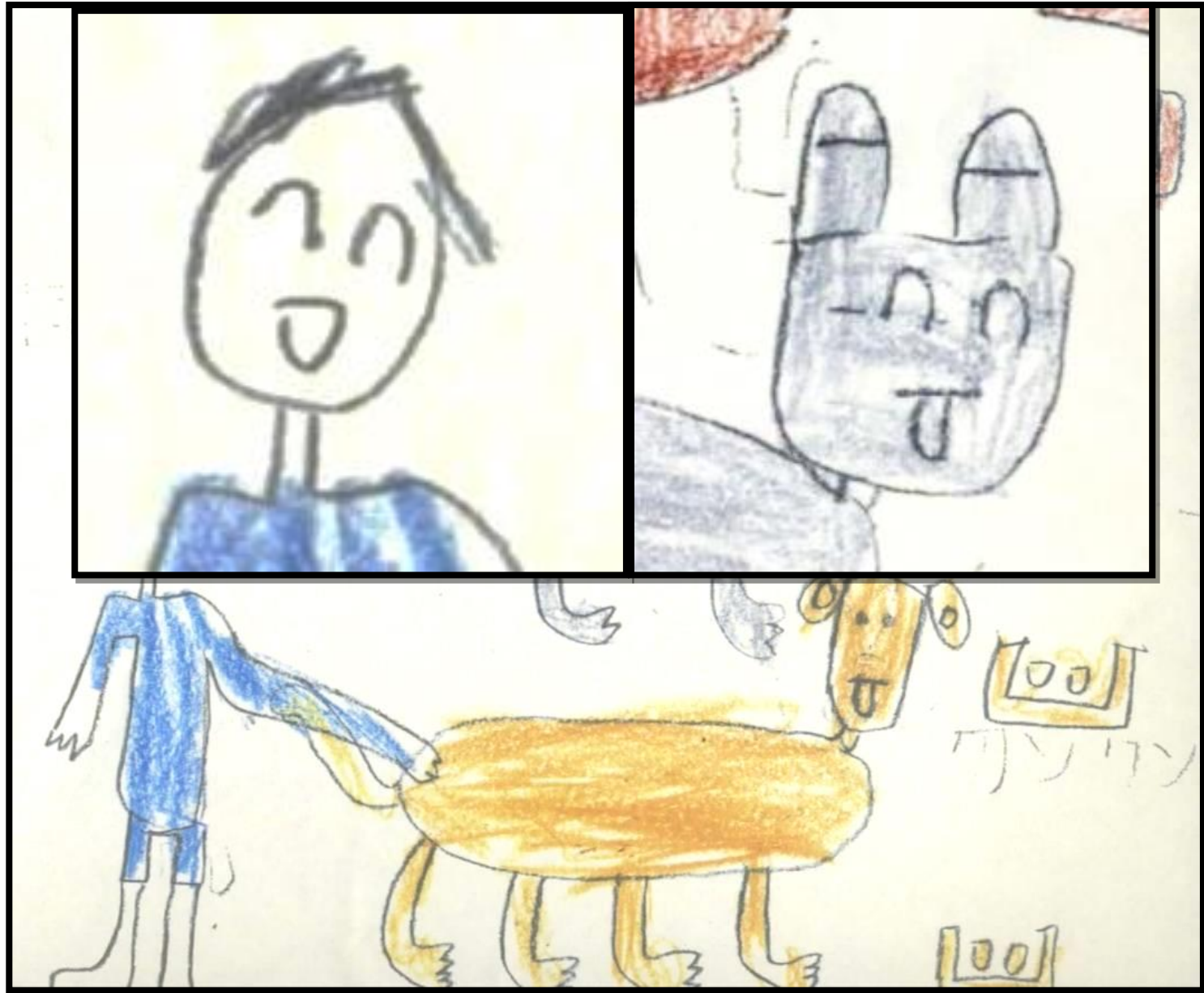
動物観と動物介在教育

二枚の犬の絵

ある子どもによるイヌの絵その1.



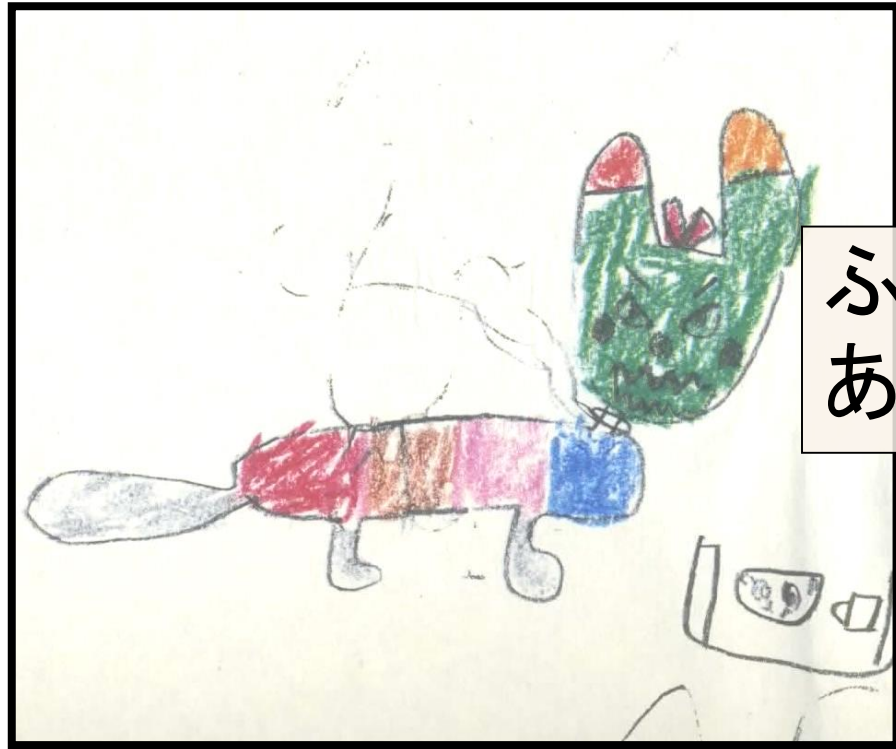
ある子どもによるイヌの絵その2.



2枚のイヌの絵 動物介在教育前後の変化

直前の絵

直後の絵



ふれ
あい

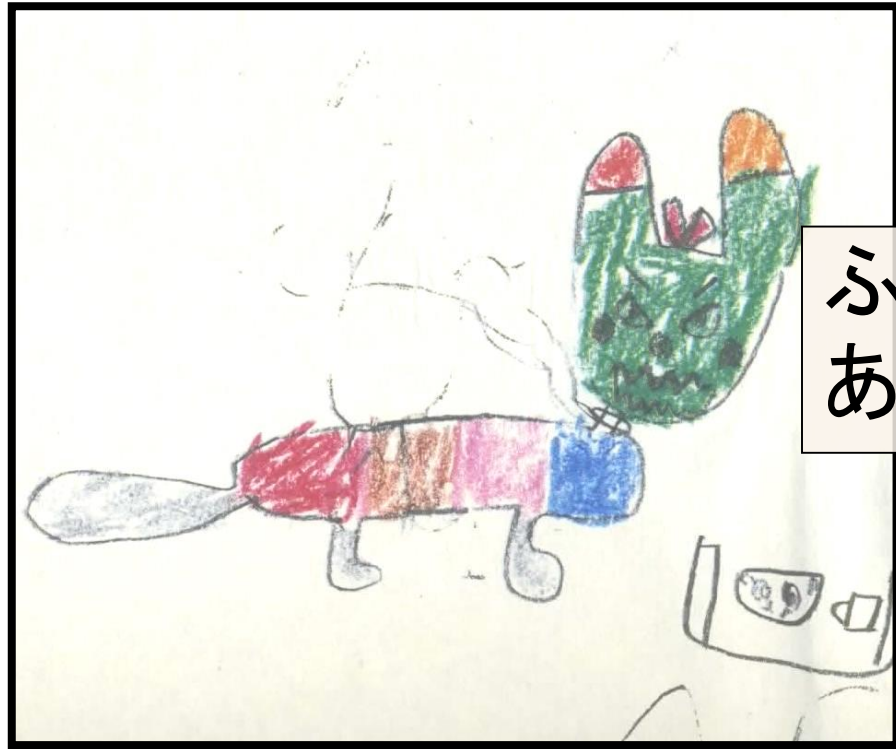


たった1回の体験で劇的に表現が変化

2枚のイヌの絵 動物介在教育前後の変化

直前の絵

直後の絵



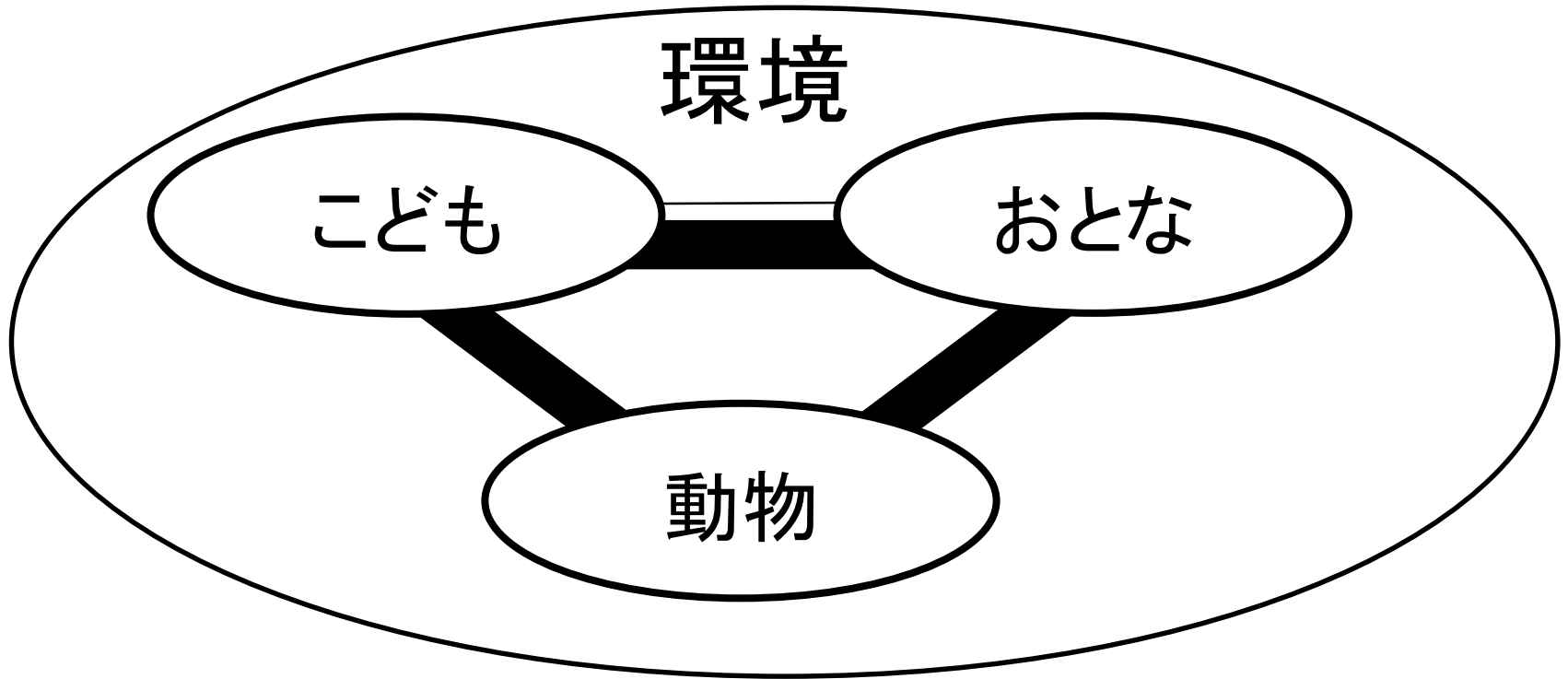
ふれ
あい



たった1回の体験で劇的に**動物観が変化**

動物介在教育の基本構造

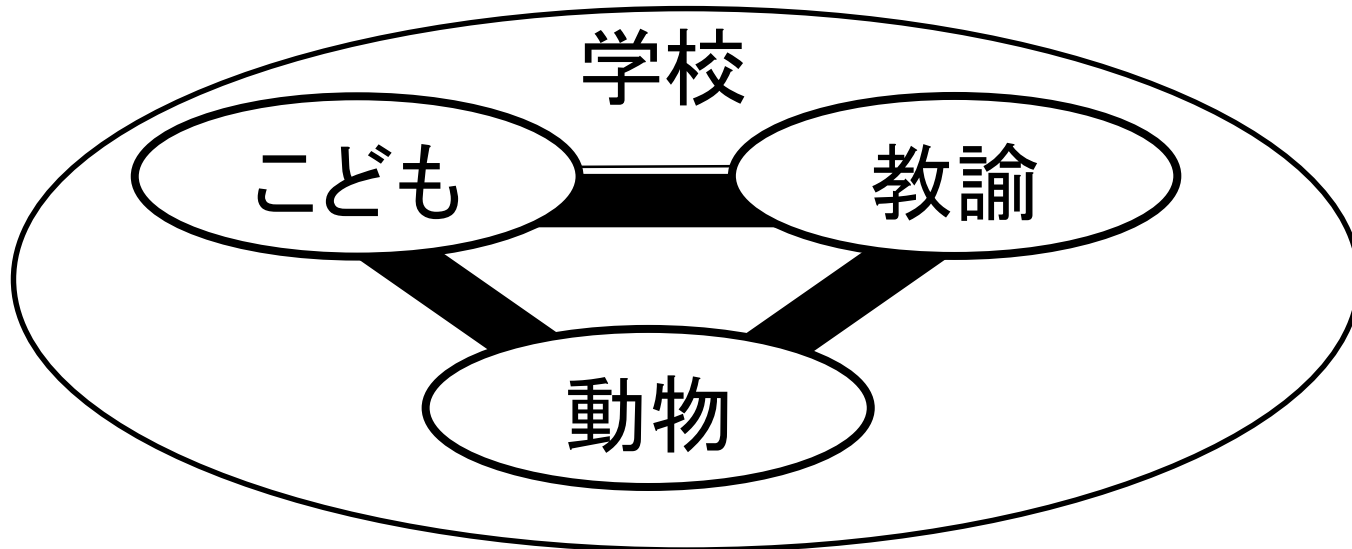
- 「三項関係」・コミュニケーション・環境



学びの雰囲気を守られていること

「いのち」の教育

- 「ことば」を過信しないこと。
- 「いのちある対象」と二人称の視点で向き合うこと。 = 生の関係性の創出



「コミュニケーション」と「教育」

送り手の十全なコミュニケーション」
「ことば・表情・身体動作」
の全てが整合、矛盾がないこと。

まなぶ



確かな教育効果

動物に対する
印象が刷新

動物にふれる体験の効果

- ふれあいなしとの対比
- 動物の

研究1.イメージが好転する

研究2.イメージが具体的にになる

研究3.記憶に永く残る

動物介在教育と 初等教育

小学校学習指導要領「生活」 目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

小学校学習指導要領「生活」 内容

<内容(7)>

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

幼稚園教育要領「環境」 内容

＜内容(5)＞

身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。

教育現場の問題

教員の動物観（動物に対する態度）

小学校の事例▶ 否定的態度

審美的態度

宿神論的態度

分析的態度

支配者の態度

実用的態度

生態学的態度

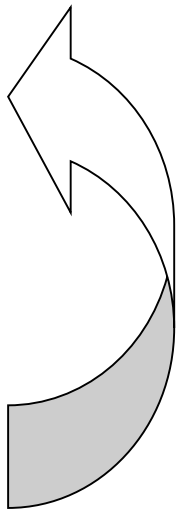
家族的態度

倫理的態度

自然主義的態度

無関心的態度

開発的態度



教員の動物観の影響力は大きい。

教員



否定的
態度

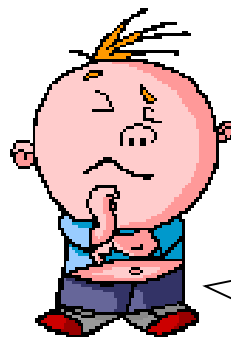
行動進化論的考察

子どもは自分を保護する立場の人間の反応に、本能的に同調する。なぜならば、そのほうが、自身の生存にとって適応的だからである。

動物



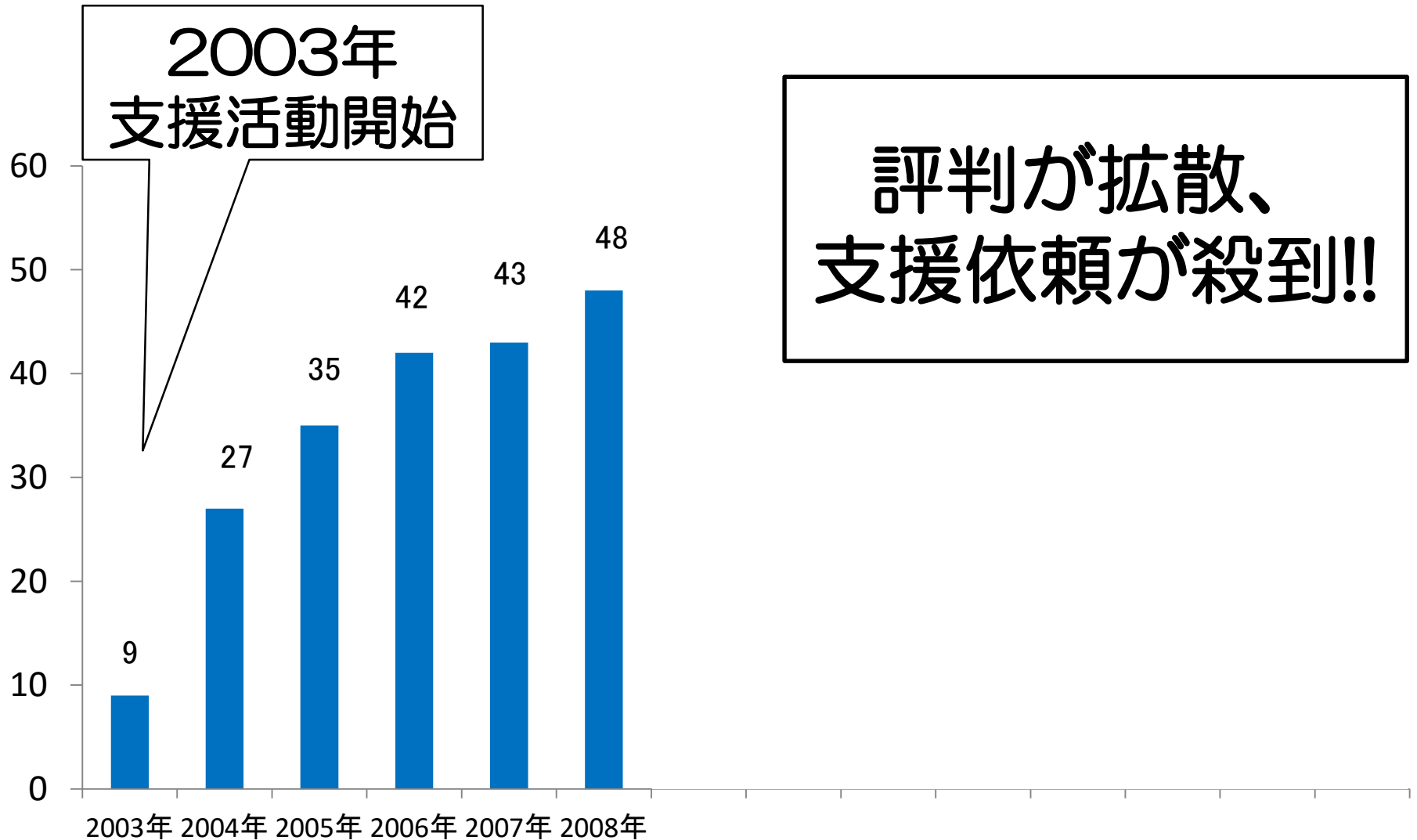
影響



大人の態度に
同調

子供

動物介在教育の支援件数





社会が必要としている人材とは

「動物ふれあい」ができる教員、保育士



2008年

こども学部こども学科誕生

教員養成の弱点を補い

社会のニーズに応える

帝京科学大学 こども学部 こども学科 (幼稚園教諭一種)

- 教職に関する科目

(教育課程及び指導法に関する科目)

動物介在教育学、

動物・ロボット介在教育演習 I・II

生物野外観察法

教員養成システムの問題

- 文部科学省実地視察
- 教員免許状を授与する課程に、資格課程としての標準性を求める。

「教員の質」の均質化

帝京科学大学 こども学部 こども学科 (幼稚園教諭一種)

- 教職に関する科目

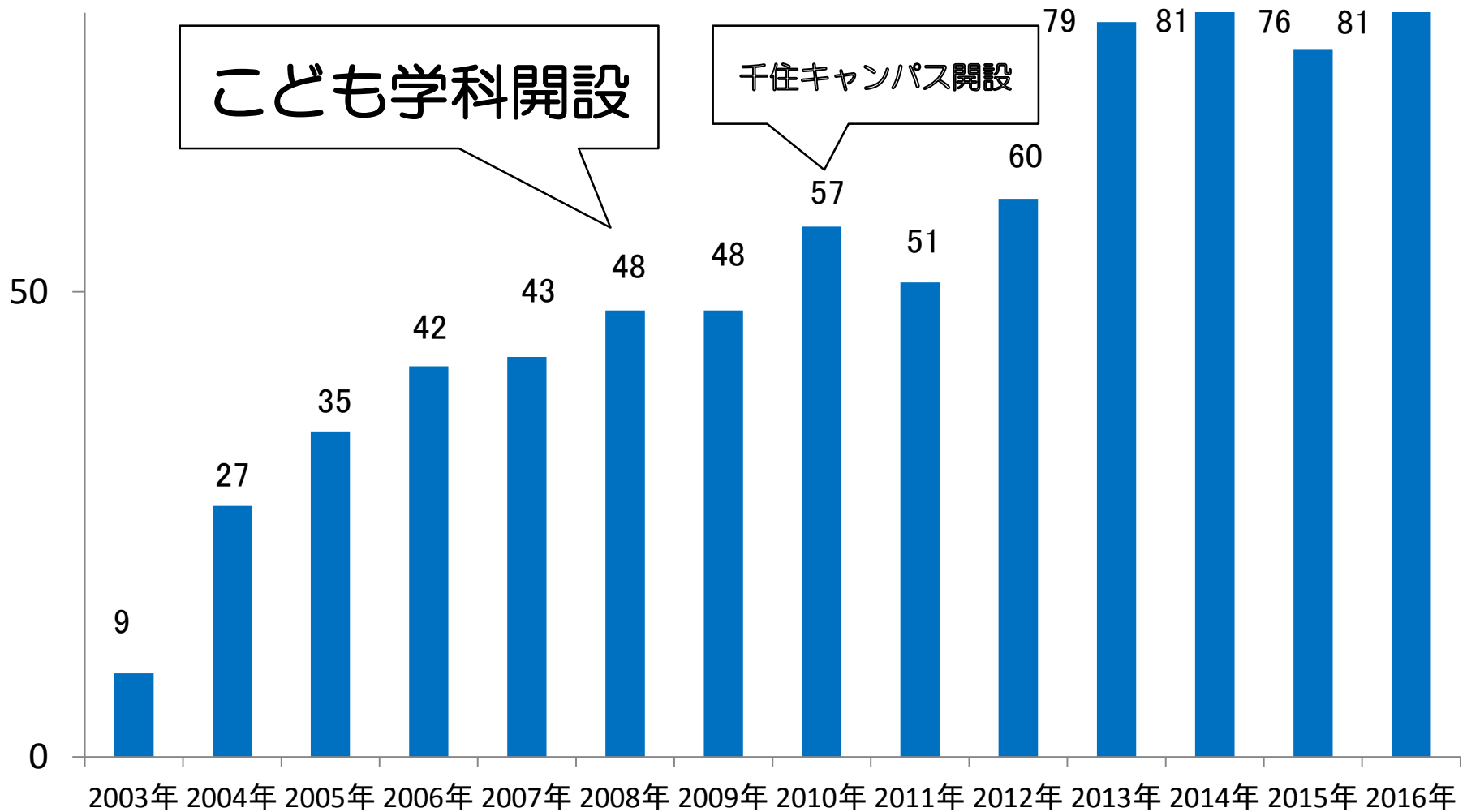
(教育課程及び指導法に関する科目)

削除 ~~動物介在教育学~~

削除 ~~動物・ロボット介在教育演習 I・II~~

削除 ~~生物野外観察法~~

動物介在教育の支援件数



11月の動物介在教育

- 1日 足立区立辰沼小学校
- 2日 アクアリウム相模原
- 6日 足立区立弘道第一小学校
- 9日 足立区児童養護施設クリスマスビレッジ
- 11日 山梨県上野原市立秋山小学校
- 12日 山梨県大月市立初狩小学校
- 14日 山梨県都留市立谷村第一小学校
- 16日 山梨県立科学館
- 17日 山梨県立科学館
- 18日 山梨県都留市立禾生第一小学校
- 19日 渋谷区帝京めぐみ幼稚園
- 21日 足立区立弘道小学校
- 22日 埼玉県越谷市大袋東小学校
- 25日 足立区立千寿双葉小学校

教育で動物観は変わる。

史実からの検証：害虫の誕生

- 明治維新前、日本に害虫はいなかった。
- 明治維新後に現れる。

どうして？

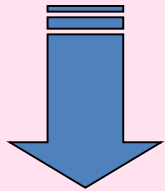
参考文献：瀬戸口明久.2009. 害虫の誕生. 筑摩書房,東京.

初等教育の成果。

小学校低学年に対して実施する意義

「いのちの大切さ」
の実感形成

おそらく敏感期が
存在する。
(6~8才?)



故に、生活科は重要。



人材(=こども)育成のための方策1.

- ・教職に関する科目

- ・教育課程及び指導法に関する科目

- ・教育の方法及び技術

「動物介在教育学」の配置を認可。

動物を適切に教材活用できる教員養成を推進

人材(=こども)育成のための方策2.

現行の教科教育法のシラバスに以下の指示あり。

- 「ICTの活用法を含めること」

これにならない、生活科あるいは理科のシラバスに

- 「動物の活用法を含めること」

と指示する。

人材(=こども)育成のための方策3.

- 現行の生活科、道徳、理科、国語等の教科書に動物を教材とした様々な単元を活用する。

動物愛護・動物福祉の概念定着と、動物との共生実現をねらいとした学習指導案モデルを作成して配布するとともに教員研修会を企画する。

文部科学省との共同で

- 動物を教材活用できる教員養成



- 公教育に動物愛護・動物福祉教育を導入



- 動物愛護と動物福祉概念を定着、ヒトと動物の共生を推進する

ご清聴ありがとうございました。